



新潟市内の全ての園と全ての小学校がつながります

## 新潟市共通幼小接続期カリキュラム



小学生に見守られ、伸び伸び活動する園児

幼児教育と小学校教育の接続については、新潟市共通幼小接続期カリキュラムを作成し、市内全ての園と市立小学校で取り組みます。これは、子どもがどの園からどの小学校へ入学しても、園での遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにするためです。

### 令和元年 12月 新潟市一貫教育推進協議会

新潟市保育会、新潟市私立幼稚園・認定こども園協会、新潟市立幼稚園長会、新潟市小学校長会、新潟市中学校長会、新潟市こども未来部保育課、新潟市教育委員会が協働で取組を進めています。

\*新潟市共通幼小接続期カリキュラムについての詳細は、下記ホームページをご覧ください。  
[http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/sho\\_chu\\_school/ikkansitakyouiku/index.html](http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/sho_chu_school/ikkansitakyouiku/index.html)



# 園での生活

園では、友だちとかかわりながら主体的に活動する子どもを育てます。

## 運動会リレーの作戦会議

絶対に  
勝つぞ！



走る順番を  
考えよう



はじめは、先生といっしょにリレーを十分に楽しみます。「どうしたら勝てるかな」という願いが生まれ、縦割り班で年長がリードして自分たちで話し合いを始めました。運動会当日は、自分たちで立てた作戦にしたがってがんばりました。

## 虫の餌調べ

どこに  
いるかな？



ぼくの育てた  
きゅうりを  
食べるかな？



虫取りが大好きで、毎日のように虫を捕まえている子どもたち。気づきや疑問が生まれるまで、十分に活動させます。どんな餌を食べるか、どうやって育てたらよいか、自主的に調べ始めました。絵本や図鑑を見ながら友達といっしょに調べています。

## お店づくり

この色に  
しようかな



まかせて

ここに  
貼って



選べる素材を用意して、子どもの興味に合わせて遊びが広がるようにしています。自分なりに考えていろいろな道具や素材を選び、友達と協力して制作活動に取り組んでいます。

# 4月の小学校生活

園での学びを活かし、安心感と自信をもって活動する子どもを育てます。

## ゆったりタイム



始業前に自分で支度をし、やりたい活動を行う時間です。登校後、写真等を使った掲示物を見ながら持ち物の整理を行い、できた喜びを味わいます。次に、お絵かきや折り紙等、やりたい活動を自分で決めて行います。活動を通して子ども同士の自然なかかわりも促され、「できた」「安心」「楽しい」という思いをもって一日をスタートします。

## なかよしタイム



安心感をもち、先生や友達と仲よくなる時間です。担任が呼び掛ける形で、みんな一緒に、園で慣れ親しんできた歌、ダンス、読み聞かせや自己紹介などを行います。オープンスペースや体育館での遊びも取り入れ、休み時間も円滑に遊べることを目指します。健康観察やその日の予定確認なども行います。

	4月1週～2週	3週～4週	5月以降
始業前	ゆったりタイム(5月以降は実情に応じて)		
朝学習の時間等	ゆったりタイム	なかよしタイム	ぐんぐんタイム
1時間目	なかよしタイム	わくわくタイム	
2時間目	わくわくタイム	ぐんぐんタイム	
3時間目	ぐんぐんタイム		
4時間目			
5時間目			

## ぐんぐんタイム



教科等の学習の時間です。国語の学習における自己紹介を学校探検で出会った人と行う等、生活科での体験を算数や図工などの他教科の学習と関連付けて行います。そうすることで、児童は意欲を高め主体的に学ぶことができます。教師は、単元配列表を基に関連を構想します。

## わくわくタイム



「学校探検」を中心とした生活科の学習の時間です。子どもの気付きを大切にすることで、主体的に学ぶ楽しさを味わわせます。教師は、子どもの興味・関心から生まれる課題を大切にして、幼児期に身に付けた力を発揮し、じっくりと課題解決ができる時間を保障します。

# アプローチ・カリキュラムをデザインしよう!

## 【自園化するためのステップ】

### ■ステップ1

アプローチ・カリキュラムの「経験してほしい重点内容(子どもの姿)」を全職員で共有する。

### ■ステップ2

「経験してほしい重点内容(子どもの姿)」が入るように、自園の長期のカリキュラムを作成する。

### ■ステップ3

「経験してほしい重点内容(子どもの姿)」が入るように、自園の短期のカリキュラムを作成する。

新潟市共通アプローチ・カリキュラムでは、「かかわる力」の基盤をつくり、主体性を育むために意識してほしい子どもの姿を明記しました。明記している姿の一つ一つについては、時期や期間を園の状況に合わせてよりよく変更していただいて結構です。

目指す姿に向かっているかどうかを常に意識します。子どもの様子を観察し、状況に即して短期案を修正し、次の取組につなげるようにします。共通アプローチ・カリキュラムの「新潟市の重点」に合わせて短期案を3色に着色すると、目指す姿を意識しやすくなります。

# スタートカリキュラムをデザインしよう!

## 【自校化するためのステップ】

### ■ステップ1

スタートカリキュラムで期待する児童の姿を全職員で共有する。

### ■ステップ2

実施に向けた組織を校務分掌に位置付けるとともに、実施計画を作成し、全職員で共通理解する。併せて生活科と各教科等の単元を関連付けた単元配列表(4月)を作成する。

### ■ステップ3

園での総合的な学びから細分化された教科等での学びへと段階的に移行する週案を作成する。  
\* 4つの〇〇タイムを意図的・計画的に位置づける。

実際に保育園や幼稚園を訪問し、教職員と意見交換をしたり、要録等を活用したりして、幼児期の学びと育ちの様子や指導の在り方を理解します。

その後、新潟市の重点を基に、全職員、保護者、地域で期待する姿を明確にし、共有します。

新潟市から出される単元配列表を基に、自校の1学年4月の単元配列表を作成します。

### 時間割や学習活動を工夫する

入学時の子どもは小学校での学習にアコがれをもっている一方、長時間じっと学習することが難しく、体全体で学ぶ傾向があります。このような入学間もない時期の子どもの学びの特徴を踏まえ、生活科を中核として、15分程度のモジュールで時間割を構成したり体を動かすなど活動性のある学習活動を行ったりするよう、工夫します。動と静の活動を組み合わせることで主体的に学習に取り組めるようにします。

### 合科的関連的な指導の充実を図る

自分と身の回りの環境や生活とのかわりを通して総合的に学ぶ子どもの特性を踏まえ、合科的関連的な指導の充実を図ります。

かかわる力の基盤づくり											
月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月	4月	5月以降	
幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園 教育・保育要領 より	【幼児期に育みたい3つの資質・能力】 ・知識及び技能の基礎 ・思考力、判断力、表現力の基礎 ・学びに向かう力、人間性等							【資質・能力の三つの柱】 ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 ・学びに向かう力、人間性等			
新潟市の重点	子どもの姿 経験してほしい重点内容	友達に気持ちを伝え、遊びを進める。 目的をもち、友達と互いに思いや考えを伝え合い、遊びを進めることを楽しむ。					1年生になることに期待をもち、園生活を楽しみ、成長を自覚する。		子どもの姿 経験してほしい重点内容	学校に対する安心感をもち、先生や友達と仲良くする。	
	互いの思いや考えを共有したり、折り合いを付けたりする。 【3 協同性、4 道徳性・規範意識の芽生え】	友達と思いを出し合いながら協力して遊びに取り組み、充実感を味わう。 友達と一緒に遊ぶ中で思い通りにならなくても気持ちを切り替えて遊んだり、トラブルになっても折り合いを付けようとする。					自分で考えたり 友達と声をかけ合ったりして時間を意識しながら生活しようとする。 クラスの友達と修了、卒園に向かって考えたり工夫したりしながら気持ちを共有し、活動する。		互いの思いや考えを共有したり、折り合いを付けたりする。 【3 協同性、4 道徳性・規範意識の芽生え】	自分の力を発揮しながら協力して学習や活動に取り組む。 しまりを守る必要性が分かり、友達と折り合いを付けながらしまりを作ったり守ったりする。 学校生活の中で、自分の気持ちを調整し、折り合いを付ける。	
	意思表示ができるとともに、言葉を通して思いを伝え、相手の言葉を理解する。 【9 言葉による伝え合い】	友達(グループ)と同じ目的をもって取り組む中で、自分なりのイメージを言葉で表現したり、先生や友達の話聞いて課題を乗り越えようとする。 自分の思いや考えを友達に分かるように話したり、友達の話聞いてたりして理解しようとする。					園での楽しかったことや小学校へ行ったら楽しみなことを周りの人に伝え合う。		意思表示ができるとともに、言葉を通して思いを伝え、相手の言葉を理解する。 【9 言葉による伝え合い】	新しい友達や先生と心を通わせる中で、自分の思いや考えを相手に分かるように話したり相手の話を聞いて理解したりしようとする。	
	成長を自覚し、小学校生活に期待をもつ。 【2 自立心、5 社会生活との関わり】	行事等の参観に来た小学校職員と顔見知りになることを喜ぶ。 小学校を訪問し、小学校の環境を知る。 小学生との交流を通して、小学校に対して親しみや憧れをもつ。					自分のことができるようになった成長や自立を自覚し、自信をもつ。 生活習慣の確立や生活のリズムを整え、小学校生活への見通しをもつ。		成長を自覚し、小学校生活に適応する。 【2 自立心、5 社会生活との関わり】	自分でできることは自分でしようとする。 学校や地域の人に親しみをもち、進んでかかわる。	
小学校・他園との交流活動	小学生との交流 (小学校の場や児童・先生に親しみをもてるように)		小学生との交流 (小学校の場や児童・先生に親しみをもてるように)			小学校体験入学【1年】 (小学校入学に期待が膨らむように)		交流活動	縦割り班の活動(清掃等)		
行事等							修了式・卒園式	行事等	入学式	1年生を迎える会	運動会
小学校・他園との連携 保護者との連携	公開保育による合同研修 就学時健康診断での交流				就学時健康診断後の懇談 (就学に向けて)		入学前情報交換会 学級・個別懇談会 (早寝・早起き・しっかり朝食等の生活習慣、準備)	園との連携 保護者との連携	入学後情報交換会 保護者ボランティア(登下校、給食等)		

かかわる力を育てていきましょう

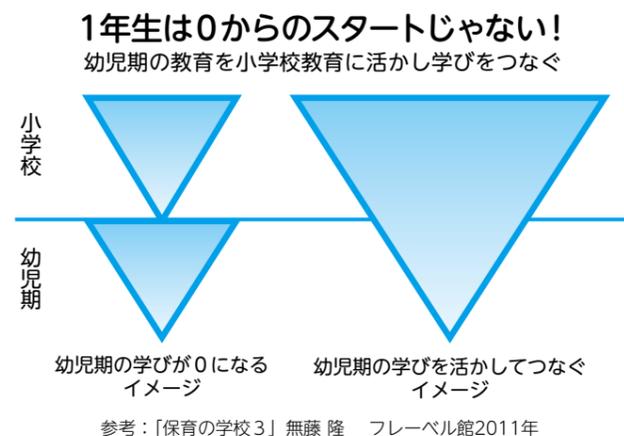


子どもたちが生きていくこれからの社会では、「人・物・こと」とかかわっていく力が一層求められます。新潟市の学校教育の特色である「学・社・民の融合による教育」では、多様な人とのかかわりを通じた豊かな学びの実現を目指しています。

そこで、新潟市共通幼小接続期カリキュラムでは、「かかわる力の基盤づくり」を重点にしました。子どもたちに様々なかかわりを経験させながら、かかわる良さを実感させ、意欲を育てます。

上図の「新潟市の重点」に示した3つの「経験してほしい重点内容」は、左図のように、10の姿と関連付けて設定しています。10の姿を目指す中で、特に「新潟市の重点」につながる5つの姿を大切に日々の取組を行いましょう。

園での学びと小学校での学びをつなぎましょう



幼児教育では、10の姿を踏まえ、子どもたちの資質・能力を引き出し、高めるように取り組みます。また、小学校教育では、園で育まれてきた資質・能力を踏まえ、子どもたちの主体性を大切にした教育活動を行います。

小学校での教育は、ゼロからスタートするわけではありません。園での学びの上に立って始まります。

\*小学校では、園で育まれた資質・能力を信じて引き出すという指導観が求められています。